

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度	R4年度	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度	R4年度に向けて	R2年度	R4年度に向けて	
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度		中期 目標	予算額 (千円)			予算額 (千円)	事業 評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	局施策 評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
I-2-(1)-② 大学などの教育 研究機能の 充実	1	④ ⑨	公立大学法人 北九州市立大 学運営事業	企画 課	公立大学法人の 設置者として、地 方独立行政法人法 第42条に基づき、 業務運営に必要な 経費を交付し、法 人の業務運営の健 全性を確保する。	公立大学法人北 九州市立大学評 価委員会におけ る各事業年度に 係る業務に対す る評価	目標	A (計画どお り)	A (計画どお り)	A (計画どお り)	A (毎年 度)	継続	2,595,900	2,665,000	維持	13,200	順調	第三期中期計画の実施に向 け、引き続き公立大学法人北 九州市立大学の健全な業務運 営と教育研究の高度化・個性 化、地域への貢献などを支援 する。 また、老朽化施設の改修等 施設整備を支援する。	順調	引き続き公立大学法人北九 州市立大学の健全な業務運営 と教育研究の高度化、地域へ の貢献などの支援に努めてい く。
							実績	A (計画どお り)												
							達成率	—												
						公立大学法人北 九州市立大学評 価委員会におけ る中期目標期間 に係る業務に対 する評価	目標	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	A (計画どお り)	A (R4年 度)									
							実績	—												
							達成率	—												
I-2-(1)-④ シンク タンクを 活用した 調査・研 究機能の 強化	2	④ ⑨	公立大学法人 北九州市立大 学運営事業	企画 課	北九州市立大学 地域戦略研究所 での地域研究プ ロジェクト、受託 調査を通じて、地 域研究の高度化 を推進する。	公立大学法人北 九州市立大学評 価委員会におけ る各事業年度に 係る業務に対す る評価	目標	A (計画どお り)	A (計画どお り)	A (計画どお り)	A (毎年 度)	継続	2,595,900	2,665,000	維持	13,200	順調	第三期中期計画の実施に向 け、引き続き公立大学法人北 九州市立大学の健全な業務運 営と教育研究の高度化・個性 化、地域への貢献などを支援 する。 また、老朽化施設の改修等 施設整備を支援する。	順調	引き続き公立大学法人北九 州市立大学の健全な業務運営 と教育研究の高度化、地域へ の貢献などの支援に努めてい く。 アジア成長研究所の研究活 動については、引き続き、外 部資金を獲得するために不断 の努力を行うとともに、「国 際水準の知的基盤の強化」を 推進するように求める。 また、市民・企業向けの講 座に関しても、リモート会議 のさらなる改善と定着に取り 組み、認知度と貢献度の向上 を目指し、引き続き「地元貢 献」に重点を置いて活動する ように指導する。
							実績	A (計画どお り)												
							達成率	—												
						公立大学法人北 九州市立大学評 価委員会におけ る中期目標期間 に係る業務に対 する評価	目標	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	A (計画どお り)	A (R4年 度)									
							実績	—												
							達成率	—												

企画調整局

[Plan] 計画 / [Do] 実施		[Check] 評価 / [Action] 改善																	
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度									
3	④ ⑦ ⑰	(公財) アジ ア成長研究所 補助金	国際 政策 課	地元貢献を重視 した日本を代表す るアジア研究機関 を実現するため、 地域への知的貢献 と国際水準の知的 基盤の強化を目的 とする活動を行う (公財)アジア成長 研究所へ補助金を 交付する。	著名な学術雑誌 への論文掲載数	目標	5 本	5 本	5 本	5本 (毎年 度)	継続	140,000	140,000	維持	4,650	順調	行政・企業をサポートする 「地元貢献」に重点的に取り 組むとともに、これまで培っ てきた調査研究能力で高度な 学術水準の維持に努める。 また、引き続き通信技術等 の積極的な活用に努め、コロ ナ禍を機に始まったオンライ ンでの環境作りを推進する。 さらに、科学研究費など外 部資金の獲得に注力し、財政 基盤の安定化に努める。		
						実績	5 本												
						達成率	100.0 %												
					科学研究費を含 む外部資金獲得 数	目標	6 件	6 件	6 件	6件 (毎年 度)									
						実績	5 件												
						達成率	83.3 %												
I-2- (2)-③ アジア との架 け橋と なる人 材の育 成	4	④ ⑨	公立大学法人 北九州市立大 学運営事業	企画 課	公立大学法人の 設置者として、地 方独立行政法人法 第42条に基づき、 業務運営に必要な 経費を交付し、法 人の業務運営の健 全性を確保する。	公立大学法人北 九州市立大学評 価委員会におけ る各事業年度に 係る業務に対す る評価	目標	A (計画どお り)	A (計画どお り)	A (計画どお り)	A (毎年 度)	継続	2,595,900	2,665,000	維持	13,200	順調	第三期中期計画の実施に向 け、引き続き公立大学法人北 九州市立大学の健全な業務運 営と教育研究の高度化・個性 化、地域への貢献などを支援 する。 また、老朽化施設の改修等 施設整備を支援する。	引き続き公立大学法人北九 州市立大学の健全な業務運営 と教育研究の高度化、地域へ の貢献などの支援に努めてい く。
							実績	A (計画どお り)											
							達成率	—											
					公立大学法人北 九州市立大学評 価委員会におけ る中期目標期間 に係る業務に対 する評価	目標	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	A (計画どお り)	A (R4年 度)									
						実績	—												
						達成率	—												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 （千円）	R4年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費 （目安） 金額 （千円）	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）		
						指標名等	現状値 （基準値）	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標	
II-3-(3)-① 多文化共生社会の実現に向けた体制の構築	5	④ ⑩ ⑪ ⑰	多文化共生の推進	国際政策課	外国人市民が安心して暮らすことができる多文化共生のまちづくりを推進するため、外国人市民が抱える生活上の諸問題や支援に対するニーズの把握を行う。	市民の「多文化共生」という言葉の認知度 ※中期目標改訂	51.8% (H29年度)	目標	53.0 %	54.0 %	61.0 %	62% (R6年度)	継続	42,065	42,803	維持	3,075	順調	外国人市民が日本で生活するうえでの課題や多様なニーズを把握し、多文化共生施策に効果的に反映するため、ディスカッションの場に、幅広い層（在留資格、年齢、居住年数など）の外国人市民に参加を促す。 【中期目標の変更内容】 令和2年度実績において中期目標を達成しているため、60%から62%に上方修正。	順調	外国人市民が日本で生活するうえでの課題やニーズを積極的に聴取し、外国人市民にとって、より効果的な施策の実施に努める。 また、外国人市民が抱える様々な問題に対して、関係機関との連携をさらに進め、個々の相談の解決に取り組み、外国人市民が安心して住み続けられるよう支援を続ける。
								実績	60.6 %												
								達成率	114.3 %												
II-3-(3)-② 外国人市民の生活環境の充実	6	④ ⑩ ⑪ ⑰	多文化共生ワンストップインフォメーションセンター運営事業	国際政策課	外国人市民が安心して生活するための情報提供や相談に多言語で元的に対応する「北九州市多文化共生ワンストップインフォメーションセンター」の運営を行う。	外国人市民の生活環境の向上（多文化共生の現状調査で暮らしやすいと回答）	79.7% (H26年度)	目標	単年度目標設定なし	単年度目標設定なし	単年度目標設定なし	80%以上 (R6年度)	継続	24,715	24,715	維持	2,325	順調	外国人市民が抱える様々な問題に、行政機関や専門家と連携しながら、伴走型の支援を継続し、外国人市民にとって安全安心な生活環境の整備に務める。	順調	
								実績	—												
								達成率	—												
II-3-(3)-② 外国人市民の生活環境の充実	7	④ ⑩ ⑪ ⑰	多文化共生の推進	国際政策課	日本語の不得手な外国人市民へのサポートとして、行政機関や医療機関（健康診査）に通訳ボランティアを派遣するとともに、災害時通訳も含めた通訳スタッフのスキル向上を図る。 また、多言語等でわかりやすい生活情報の提供をすることにより、外国人市民の安全・安心な生活環境の整備を推進する。	外国人市民の生活環境の向上（多文化共生の現状調査で暮らしやすいと回答）	79.7% (H26年度)	目標	単年度目標設定なし	単年度目標設定なし	単年度目標設定なし	80%以上 (R6年度)	継続	42,065	42,803	維持	3,075	順調	外国人市民が安心して生活できるよう、行政機関や医療機関への通訳派遣を継続して実施する。 また、外国人市民が情報弱者となり不利益を被ることのないよう、多言語や、やさしい日本語での情報発信を行う。	順調	今後も（公財）北九州国際交流協会と密に連携し、多様化する外国人市民のニーズを踏まえ、外国人市民が安心して住み続けられるよう、さらにきめ細やかな情報提供や伴走型支援を行っていく。
								実績	—												
								達成率	—												
II-3-(3)-② 外国人市民の生活環境の充実	8	④ ⑩ ⑪ ⑰	多文化共生ワンストップインフォメーションセンター運営事業	国際政策課	外国人市民が安心して生活するための情報提供や相談に多言語で元的に対応する「北九州市多文化共生ワンストップインフォメーションセンター」を設置し運営を行う。	外国人市民の生活環境の向上（多文化共生の現状調査で暮らしやすいと回答）	79.7% (H26年度)	目標	単年度目標設定なし	単年度目標設定なし	単年度目標設定なし	80%以上 (R6年度)	継続	24,715	24,715	維持	2,325	順調	外国人市民が抱える様々な問題に、行政機関や専門家と連携しながら、伴走型の支援を継続し、外国人市民にとって安全安心な生活環境の整備に務める。	順調	
								実績	—												
								達成率	—												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)						
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標					
II-3-(3)-③ 市民の 国際理 解の推 進	9	④ ⑩ ⑪ ⑰	多文化共生の 推進	国際 政策 課	日本人市民対 して、多文化共生 に関する意識啓発 や国際交流の機会 や場の提供を行う ことで、外国人を 受け入れる地域づ くりを目指すとし て、すべての市民 が安心して暮ら し、自己の能力を 発揮できる「多文 化共生先進都市」 としてのまちづく りを推進する。	指標名等	現状値 (基準値)	目標	実績	達成率	中期 目標	成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)					
						市民の「多文化 共生」という言 葉の認知度	51.8% (H29年 度)	53.0 %	54.0 %	61.0 %	62% (R6年 度)	継続	42,065	42,803	維持	3,075	順調	外国人市民を地域で受け入 れる土壌づくりを行うため、 外国人市民と地域の交流事業 を実施する。 また、地域住民に対し、多 文化共生の意識啓発を実施す るとともに、やさしい日本語 の研修を実施する。 【中期目標の変更内容】 令和2年度実績において中 期目標を達成しているため、 60%から62%に上方修正。	順調	外国人市民への働きかけだ けでなく、日本人市民に対す る多文化共生に関する意識啓 発についても積極的に実施 し、多文化共生の地域づくり を目指す。					
						※中期目標改訂		114.3 %																	
III-1-(1)-② 定住促 進や地 域活性 化のた めの環 境づく り	10	③ ⑧ ⑪ ⑰	定住・移住促 進事業	地方 創生 推進 室	北九州市まち・ ひと・しごと創生 総合戦略に人口減 少対策の重要な柱 の1つとして位置づ ける「定住・移住 の促進」を図るた め、首都圏におけ るPRや「北九州市 版生涯活躍のま ち」の推進等に向 けて取り組むもの。	指標名等	現状値 (基準値)	目標	実績	達成率	中期 目標	成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)					
						北九州市への50 歳以上の転入者 の増加数	0人 (H27年 度)	100 人	24 人		448人 (H28~ R2年度)	継続	50,600	46,190	減額	28,450	遅れ	新型コロナウイルス感染症 の拡大を背景に、テレワーク 等の場所を選ばない柔軟な働 き方が広がりを見せており、 移住促進の好機が訪れている。 この流れを逃すことなく、 令和4年度は本市の魅力 や住みよさ等を情報発信する とともに、若い世代を中心と した本市への移住促進に力を 入れる。	順調	新型コロナウイルス感染症 の拡大を背景に、テレワーク 等の場所を選ばない柔軟な働 き方への関心が高まっている ことを好機として捉え、移住 検討者のニーズに沿った提案 と選択肢の充実を図る。 また、首都圏でのイベント 等を通じて生まれたネット ワークの活用、本市の住みや すさや魅力等の情報発信を通 じて、首都圏から北九州市へ の交流人口の拡大、U・Iター ン就職や移住などを推進して いく。					
						20歳代~30歳代 の社会動態の増 加数	0人 (R1年)				450人 (R3~R5 年)														

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善																						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)														
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標													
II	⑧ ①		複業・兼業による関係人口づくり事業～北九州市と首都圏を結ぶ人材マッチング～	東京事務所	首都圏の複業・兼業人材と市内企業とのマッチングを通じて、関係人口の拡大・深化をはかり、本市への移住・就職につなげていく。 また、本市の認知度等の向上、関係人口の拡大を図るワークショップを実施する。	複業・兼業のマッチング件数	目標		10 件	20 件	累計60件 (R5年度)	—	15,000	9,000	減額	20,700	—																
							実績	0件 (R2年度)																									
							達成率																										
						KitaQサポーター登録者数 ※中期目標改訂	目標		2,700 人	2,900 人	登録者数計 3,100人 (R5年度)																						
							実績	2,032人 (R1年度)																									
							達成率																										
						東京事務所における新規移住相談者数	目標		200 人	200 人	新規移住相談者数200人 (毎年度)																						
							実績	149人 (R1年度)																									
							達成率																										
						III-2-(1)-① 近代化遺産などの文化財の保存・継承	12	①	世界遺産維持活用保全事業	世界遺産課	国や関係自治体、所有者等との連携のもと、遺産価値の保全につとめる。									登録資産の保全	目標	ユネスコへの報告書作成	ユネスコへの報告書作成	ユネスコへの報告書作成	ユネスコへの報告書作成 (毎年度)	継続	29,391	27,132	減額	5,800	順調		
																					実績	ユネスコへの報告書作成											
																					達成率	—											
まつり起業祭等、地元の祭り等に出展	目標	2 件	2 件	2 件	2件 (毎年度)																												
	実績	2 件																															
	達成率	100.0 %																															

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標
	13	⑩	世界遺産集客 にぎわい創造 事業	世界 遺産 課	理解増進に向け た取組みとして旧 本事務所見学バス ツアー等を実施す る。	バスツアーの参 加者数	64人	目標 180 人	160 人	180 人	180人 (R4年 度)	継続	3,000	1,400	減額	5,800	遅れ	コロナの影響により休止し ているバスツアーの再開に向 けて、所有者と継続して協議 していく。 また、ツアーの内容につい て、世界遺産のPRや今後の集 客につながるような効果的な 実施方法を検討し、ルートや 回数の見直しを行った。		
IV-3- (1)-② 地域企 業の ニーズ に沿っ た人材 育成・ 確保の 促進	14	⑧	地元就職促進 に向けた市内 大学等助成事 業	企画 課	大学生の地元就 職の促進等に取り 組む市内大学等 に対して、新たな助 成制度により支援 することで、市と 大学等が連携して 地域と大学等の活 性化に取り組むも の。	市内大学生の地 元就職者数 ※中期目標改訂	868人 (R1年 度)	目標 前年度 (868人) 比増	前年度比増	前年度比増	1,200人 (R6年 度)	継続	50,385	49,000	維持	8,300	順調	まち・ひと・しごと創生総 合戦略の基本目標の一つであ る、市内大学生地元就職者数 の達成に向け、地元就職促進 に有効な事業を実施する市内 大学等に対して、助成金交付 による支援を行う。 【中期目標の変更内容】 第2期まち・ひと・しごと 総合戦略の指標と一致させる ため変更。	順調	引き続き、市内大学と連携 し、まち・ひと・しごと創生 総合戦略の基本目標の一つで ある市内大学生地元就職者数 の達成を目指す。
IV-4- (1)-① 北九州 の魅力 づくり	15	⑧ ⑩	北九州市魅力 発信事業	地方 創生 推進 室	市民自らがまち の魅力を発信する ウェブサイト「北 九州市 時と風の 博物館」を通じ て、本市の魅力を 発信・再発見し、 さらに情報の共有 や補足等を行うこ とで、地域資源を 磨きあげ、効果的 な情報発信を展開 する。	本市への愛着が あると答えた (肯定的な回答 をした)市民の 割合	79.3% (H25年 度)	目標 90.0 %	90.0 %	90.0 %	90.0% (R6年 度)	継続	4,690	4,221	減額	8,700	順調	これまでの取組により、 「北九州市 時と風の博物 館」の会員数は伸びている。 さらに本市の魅力を広く発信 するために、SNSでの発信を 強化し、さらなる情報発信を 展開していく。 また、首都圏の他イベント と融合し、特命大使や本市ゆ かりの方々など、これまでに 培ったネットワークを活用し て、首都圏等での情報発信を 強化する。	順調	これまでの取組により、目 標値に向けて微増ではあるが 上昇傾向である。今後も幅広 い世代に本市の魅力を感じて もらえるよう、新たなコンテ ンツの掘り起こしなどを進め るとともに、効果的な情報発 信により外部からの評価を高 めることで、市民のシビック プライドの醸成に繋げる。
			本市が好きだと 答えた(肯定的 な回答をした) 市民の割合	78.5% (H25年 度)	目標 90.0 %	90.0 %	90.0 %	90.0% (R6年 度)												
					実績 83.8 %															
					達成率 93.1 %															
							実績 86.2 %													
							達成率 95.8 %													

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善																								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)																
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標															
IV-4-(2)-① 戦略的 なシ ン プ ロ モ ー シ ョ ン の 展 開	16	⑧ ①	北九州市魅力 発信事業	地方 創 生 推 進 室	市民自らがまち の魅力を発信する ウェブサイト「北 九州市 時と風の 博物館」を通じ て、本市の魅力を 発掘・再発見し、 さらに情報の共有 や補足等を行うこ とで、地域資源を 磨きあげ、効果的 な情報発信を展開 する。	本市への愛着が あると答えた (肯定的な回答 をした)市民の 割合	79.3% (H25年 度)	目標 90.0 %	実績 83.8 %	達成率 93.1 %	90.0% (R6年 度)	継続	4,690	4,221	減額	8,700	順調	これまでの取組により、 「北九州市 時と風の博物 館」の会員数は伸びている。 さらに本市の魅力を広く発信 するために、SNSでの発信を 強化し、さらなる情報発信を 展開していく。 また、首都圏の他イベント と融合し、特命大使や本市ゆ かりの方々など、これまでに 培ったネットワークを活用し て、首都圏等での情報発信を 強化する。	順調	これまでの取組により、目 標値に向けて微増ではあるが 上昇傾向である。今後も幅広 い世代に本市の魅力を感じて もらえるよう、新たなコンテ ンツの掘り起こしを進め るとともに、効果的な情報発 信により外部からの評価を高 めることで、市民のシビック プライドの醸成に繋げる。															
						本市が好きだと 答えた(肯定的 な回答をした) 市民の割合	78.5% (H25年 度)	目標 90.0 %	実績 86.2 %	達成率 95.8 %											90.0% (R6年 度)														
						目標 90.0 %	実績 86.2 %	達成率 95.8 %																											
						目標 90.0 %	実績 86.2 %	達成率 95.8 %																											
						IV-4-(2)-② 北九州 を応援 する人 のネッ トワ ーク によ る情 報 発 信	17	⑧ ①	北九州市魅力 発信事業	地方 創 生 推 進 室	市民自らがまち の魅力を発信する ウェブサイト「北 九州市 時と風の 博物館」を通じ て、本市の魅力を 発掘・再発見し、 さらに情報の共有 や補足等を行うこ とで、地域資源を 磨きあげ、効果的 な情報発信を展開 する。										本市が好きだと 答えた(肯定的 な回答をした) 市民の割合	78.5% (H25年 度)	目標 90.0 %	実績 86.2 %	達成率 95.8 %	90.0% (R6年 度)	継続	4,690	4,221	減額	8,700	順調	これまでの取組により、 「北九州市 時と風の博物 館」の会員数は伸びている。 さらに本市の魅力を広く発信 するために、SNSでの発信を 強化し、さらなる情報発信を 展開していく。 また、首都圏の他イベント と融合し、特命大使や本市ゆ かりの方々など、これまでに 培ったネットワークを活用し て、首都圏等での情報発信を 強化する。	順調	「北九州市が好き」「北九 州市が誇り」「北九州市と関 わりたい」と思い、市民や市 出身者が自ら北九州市の魅力 を発信していく輪を広げ、北 九州市への愛着・自信・誇り を高めていくために、 (1) ウェブサイト「北九州 市 時と風の博物館」を通じ て、幅広い世代に対して、シ ビックプライドの向上や地域 情報の効果的な浸透を図る。 (2) 北九州市応援団会員へ の定期的なメール配信や、特 命大使・ひまわり大使への情 報発信の強化により、本市ゆ かりの方々に効果的に本市へ の愛着や誇りを共有してもら える取組を実施する。 また、首都圏において、学生 や若手社会人等を中心とした ネットワークを構築し、効果 的なプロモーションに取り組 んでいく。
																					本市への誇りや 自信があると答 えた(肯定的な 回答をした)市 民の割合	56.7% (H25年 度)	目標 75.0 %	実績 55.2 %	達成率 73.6 %										
目標 75.0 %	実績 55.2 %	達成率 73.6 %																																	
目標 75.0 %	実績 55.2 %	達成率 73.6 %																																	
市外からの来訪 者に対し、「北 九州市の魅力を いくつ伝えるこ とができます か」との質問に 対し、「1つ」 以上であると答 えた市民の割合	83.2% (H23年 度)	目標 95.0 %	実績 88.3 %	達成率 92.9 %	95.0% (R6年 度)																														
目標 95.0 %	実績 88.3 %	達成率 92.9 %																																	
目標 95.0 %	実績 88.3 %	達成率 92.9 %																																	

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)			
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標		
18	⑧ ⑩		首都圏応援 ネットワーク 拡大事業	東京 事務所	民間とのタイ アップによる情報 発信拠点の拡大と 本市を応援・サ ポートする新たな 人的ネットワーク を構築すること で、首都圏におけ る本市の認知度の 向上を図る。	KitaQサポー ター登録者数 ※中期目標改訂	2,032人 (R1年 度)	目標 2,500 人	実績 2,375 人	達成率 95.0 %	登録者 数計 3,100人 (R5年 度)	継続	4,500	4,050	減額	4,900	順調	LINEを活用した本市の魅力 発信、サポーター限定イベン トの開催、北九州市応援 ショップガイドブックの電子 化等による掲載情報の充実を 通じて、KitaQサポーターの 獲得につなげていく。 【中期目標の変更内容】 第2期まち・ひと・しごと 総合戦略の指標と一致させる ため変更。				
						寄附件数	46件 (H24年 度)	目標 前年度 (26,438 件) 比増	実績 64,616 件	達成率 244.4 %	—	拡大	720,000	1,110,000	増額	21,450	大変 順調	これまでの取組が功を奏 し、北九州市への寄附額（ふ るさと納税額）が大幅に増え ている状況である。 令和3年度については、新 型コロナウイルス感染症を考 慮して対面型のイベントから 主にインターネットを活用し たPR方法に切り替えたり、寄 附受付サイトを従前の3サイ トから5サイトへ増やすこと で露出を高めるなど、適宜適 切な対応を行っている。 今後も引き続き魅力ある返 礼品を選定し、主に首都圏を 対象にPRを強化することで、 寄附受入額の増加を目指す。				
						寄附金額	約450万 円 (H24年 度)	目標 前年度 (49,816万 円) 比増	実績 112,654 万円	達成率 226.1 %	—											
19	③ ④ ⑤ ⑦ ⑧ ⑪ ⑰		ふるさと寄附 金促進事業	地方 創生 推進 室	「ふるさと北九 州市応援寄附金」 についてPRし、寄 附件数及び寄附金 額の増加を図る。 また、寄附金の 使い道を寄附者が 選択できる仕組み と一定額以上の寄 附者に対する地元 特産品等の贈呈を 通じ、本市の魅力 を全国に発信す る。	寄附件数	46件 (H24年 度)	目標 前年度 (26,438 件) 比増	実績 64,616 件	達成率 244.4 %	—	拡大	720,000	1,110,000	増額	21,450	大変 順調	これまでの取組が功を奏 し、北九州市への寄附額（ふ るさと納税額）が大幅に増え ている状況である。 令和3年度については、新 型コロナウイルス感染症を考 慮して対面型のイベントから 主にインターネットを活用し たPR方法に切り替えたり、寄 附受付サイトを従前の3サイ トから5サイトへ増やすこと で露出を高めるなど、適宜適 切な対応を行っている。 今後も引き続き魅力ある返 礼品を選定し、主に首都圏を 対象にPRを強化することで、 寄附受入額の増加を目指す。				
						寄附金額	約450万 円 (H24年 度)	目標 前年度 (49,816万 円) 比増	実績 112,654 万円	達成率 226.1 %	—											

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標	
IV-4- (2)-③ 都市イ メージ の向上	20	⑧ ⑪	情報発信・取 材協力事業	地方 創生 推進 室	本市の認知度と 都市イメージの向 上を図るため、新 聞、雑誌、テレ ビ、インターネット 等のマスメディア を通じた本市の PRに取り組む。	北九州市の認知 度 (地域ブランド 調査によるも の)	目標	10 位 以内	10位以内	10位以内	10位以 内 (毎年 度)	継続	19,814	18,322	減額	20,950	やや 遅れ	コロナ禍による影響でテレ ビ番組取材やロケ番組誘致な どの実績数が減少している。 令和4年度は、ウィズコロ ナ、アフターコロナを見据え た情報発信を積極的に行うた め、マスメディアだけでなく、SNSを含めた各種媒体を 活用した情報発信を強化して いく。	やや 遅れ	引き続き、本市の都市ブラン ド推進に向け、魅力づくり や戦略的な情報発信に努めつ つ、若年層を対象としたSNS の活用や、ウィズコロナ、ア フターコロナを見据えた情報 発信を積極的に行う。	
							実績	18 位													
							達成率	—													
						目標	10 位 以内	10位以内	10位以内	10位以 内 (毎年 度)											
実績	11 位																				
達成率	—																				
V-3- (2)-② 公共施 設の転 活用な どの検 討	21	⑧ ⑨ ⑪ ⑫	公共施設マネ ジメント推進 事業	都市 マネ ジメ ント 政策 課	「公共施設マネ ジメント実行計 画」に基づき、公 共施設に関する将 来的な財政負担を 軽減するための取 り組みを進める。	公共施設保有量 の縮減	目標	—	—	—	約20% 削減 (R37年 度)	継続	8,256	8,256	維持	61,500	順調	「公共施設マネジメント 4ヶ年行動計画」に基づき、 実行計画の進捗状況を的確に 把握し、評価を行いながら進 めていくなどの実効性の確保 に努める。	順調	計画の推進にあたっては、 今後も「公共施設マネジメ ント4ヶ年行動計画」により進 捗状況の的確な把握及び評価 を行い、公共施設マネジメ ントの取組を継続的に進めて いくとともに、モデルプロ ジェクトに関しては、再配置計 画の具体化に向けた検討・調 整等を進めていく。	
							実績	—													
							達成率	—													
	22	⑧ ⑨ ⑪ ⑫	門司港地域複 合公共施設整 備事業	都市 マネ ジメ ント 政策 課	「北九州市公共 施設マネジメント 実行計画」に基づ き、門司港地域及 び大里地域におい て、公共施設の集 約等の取り組みを 進める。	門司港地域にお ける複合公共施 設の整備	モデル プロ ジェ クト 再配 置計 画 策定 (H27年 度)	目標	複合公共施 設の整備の 推進	複合公共施 設の整備の 推進	複合公共施 設の整備の 推進	複合公 共施設 の整備 の推進 (R5年度 整備予 定)	継続	81,500	33,100	減額	39,000	やや 遅れ	公共施設マネジメントの基 本方針や施設分野別実行計画 等を踏まえ、地域住民や施設 利用者等と対話しながら、引 き続きモデルプロジェクトの 着実な推進を図る。		
								実績	複合公共施 設の整備の 推進												
								達成率	—												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善																	
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)											
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標										
V-3-(2)-③ 近代化遺産などの文化財の活用	23	①	世界遺産維持活用保全事業	世界遺産課	国や関係自治体、所有者等との連携のもと、遺産価値の保全につとめる。	登録資産の保全	目標	ユネスコへの報告書作成	ユネスコへの報告書作成	ユネスコへの報告書作成	ユネスコへの報告書作成(毎年度)	継続	29,391	27,132	減額	5,800	順調	コロナ禍で実施困難な会議やイベントでのPRについて、Web会議やHPのリニューアルを行うなど、事業内容を見直すとともに予算配分の見直しを行う。	順調	引き続き、コロナ禍での実施に沿って事業内容を見直し、効果的に実施できるように進めていく。										
							実績	ユネスコへの報告書作成																						
							達成率	—																						
							まつり起業祭等、地元の祭り等に出展	目標	2 件	2 件	2 件										2件(毎年度)	継続	3,000	1,400	減額	5,800	遅れ	コロナの影響により休止しているバスツアーの再開に向けて、所有者と継続して協議していく。 また、ツアーの内容について、世界遺産のPRや今後の集客につながるような効果的な実施方法を検討し、ルートや回数を見直しを行った。	順調	引き続き、コロナ禍での実施に沿って事業内容を見直し、効果的に実施できるように進めていく。
								実績	2 件																					
								達成率	100.0 %																					
VII-1-(1)-① 「東アジア経済交流推進機構」事業の推進	25	⑧ ⑩	東アジア（環黄海）経済交流推進機構推進事業	国際政策課	平成16年11月に設立した「東アジア経済交流推進機構（以下「機構」）」の共同事務局として、会員都市との連絡調整、各会議の窓口調整や開催支援を行うとともに、機構活動の管理運営にあたる。	会員都市間ネットワークの活用による共同プロジェクトの件数	目標	3 件	2 件	2 件	4件以上(毎年度)	継続	5,290	4,871	減額	11,050	順調	会員都市の意向を踏まえた機構の活動内容や分野等の見直しを行い、組織の活性化を図る。	順調	引き続き会員都市の意向をもとに、機構の活動についてのある方を検討し、活性化を図る。										
							実績	3 件																						
							達成率	100.0 %																						
							東アジア経済交流推進機構における会議数	目標	4 件	4 件	4 件										19件(R2~R6年度)	継続	5,290	4,871	減額	11,050	順調	会員都市の意向を踏まえた機構の活動内容や分野等の見直しを行い、組織の活性化を図る。	順調	引き続き会員都市の意向をもとに、機構の活動についてのある方を検討し、活性化を図る。
								実績	2 件																					
								達成率	50.0 %																					

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善															
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度	R4年度	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)										
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度		中期 目標	予算額 (千円)							予算額 (千円)									
VII-1- (1)-② 都市間 交流・ 連携の 推進	26	17	国際交流事業	国際 政策 課	姉妹・友好都市 を中心とした海外 諸都市との様々な 分野での交流推進 を図るため、訪問 団の受入れや本市 からの訪問団派遣 等の交流事業を行 う。	姉妹・友好都市 を中心とした海 外諸都市との交 流事業参加者延 べ人数	343人 (H26年 度)	目標	330	人	330	人	330	人	330人 以上 (毎年 度)	継続	10,499	9,338	減額	14,950	順調	オンラインを活用した交流 を実施し、連携を強化する。 また、往来可能となった際 には、相互の交流を円滑に再 開できるよう準備を進めてい く。	順調	姉妹・友好都市、アセアン 諸国との様々な分野における 交流の深化を図るとともに、 連携強化やネットワーク構築 を進める。					
								実績	229	人																			
								達成率	69.4	%																			
	27	17	ASEAN新都市 間連携促進事 業	国際 政策 課	成長するアジア の活力を本市に取 り込むため、姉妹 都市であるベトナム・ハイフォン市 やカンボジア・プ ノンペン都などア セアン諸都市との 交流事業を実施す る。	アセアン諸国な どアジアの新興 国との交流事業 参加者延べ人数	—	目標			50	人	50	人	100人 (毎年 度)	継続	4,399	3,960	減額	7,955	順調	オンラインを活用した交流 を実施し、姉妹都市であるベ トナム・ハイフォン市、カン ボジア・プノンペン都との交 流を促進する。 また、その他アセアン諸国 との多分野における交流を図 り、連携を強化していく。	順調	姉妹・友好都市、アセアン 諸国との様々な分野における 交流の深化を図るとともに、 連携強化やネットワーク構築 を進める。					
								実績																					
								達成率																					
						28	17	海外とのネッ トワーク強化 事業	国際 政策 課	海外での本市の 知名度向上、及び 海外各都市との ネットワーク強化 を図るため、より 効果的で戦略的な 情報発信、シティ プロモーションを 実施する。	各種SNSによる 発信件数	—	目標			288	件	288	件	864件 (R5年 度)	—	1,500	4,700	増額	3,075	—	各国で好まれるSNSをより 効果的に発信する手法を研究 し、戦略的に情報発信するこ とで、本市の認知度の更なる 向上を目指す。	順調	姉妹・友好都市、アセアン 諸国との様々な分野における 交流の深化を図るとともに、 連携強化やネットワーク構築 を進める。
													実績																
													達成率																
28	17	海外とのネッ トワーク強化 事業	国際 政策 課	海外での本市の 知名度向上、及び 海外各都市との ネットワーク強化 を図るため、より 効果的で戦略的な 情報発信、シティ プロモーションを 実施する。	各種SNSの閲覧 件数	—	目標			15,000	件	15,000	件	45,000 件 (R5年 度)	—	1,500	4,700	増額	3,075	—	各国で好まれるSNSをより 効果的に発信する手法を研究 し、戦略的に情報発信するこ とで、本市の認知度の更なる 向上を目指す。	順調	姉妹・友好都市、アセアン 諸国との様々な分野における 交流の深化を図るとともに、 連携強化やネットワーク構築 を進める。						
							実績																						
							達成率																						

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標	
VII-1-(2)-② 文化・ス ポーツ交流 の拡大	29	⑮	国際交流事業	国際 政策 課	姉妹・友好都市 を中心とした海外 諸都市との様々な 分野での交流推進 を図るため、訪問 団の受入れや本市 からの訪問団派遣 等の交流事業を行 う。	姉妹・友好都市 を中心とした海 外諸都市との交 流事業参加者延 べ人数	343人 (H26年 度)	目標	330 人	330 人	330 人	330人以上 (毎年 度)	継続	10,499	9,338	減額	14,950	順調	オンラインを活用した交流 を実施し、連携を強化する。 また、往来可能となった際 には、相互の交流を円滑に再 開できるよう準備を進めてい く。	順調	姉妹・友好都市とのオンラ インを活用した交流を検討・ 実施することで、連携を一層 強化していく。
								実績	229 人												
								達成率	69.4 %												
VII-2-(2)-② 海外の 経済事 務所の 活用	30	⑧ ⑰	中国ビジネス サポート拠点 整備事業	国際 政策 課	駐中国北九州市 経済事務所を設 置・運営し、地元 企業のビジネスサ ポートや進出支援 を行うとともに、 本市と中国の都市 とのネットワーク を形成・強化す る。	海外事務所の本 市地域企業への 貢献度	—	目標	80 %	80 %	80 %	R3年度 の状況 により 設定	継続	41,717	37,544	減額	3,075	順調	コロナ禍で企業が海外事務 所を訪問することが困難なた め、海外事務所からもオンラ イン等を駆使して、企業ニー ズの把握に努め、市内企業へ 情報提供を図るなど支援を行 う。	順調	引き続き、コロナ禍におい て海外との往来に見通しが立 たない中においても、市内企 業のビジネスサポート、及び 北九州市の魅力発信に努め る。
								実績	89.4 %												
								達成率	111.8 %												
						海外事務所を利 用した企業数	—	目標	250 社	200 社	200 社	R3年度 の状況 により 設定	継続	41,717	37,544	減額	3,075	順調	コロナ禍で企業が海外事務 所を訪問することが困難なた め、海外事務所からもオンラ イン等を駆使して、企業ニー ズの把握に努め、市内企業へ 情報提供を図るなど支援を行 う。	順調	引き続き、コロナ禍におい て海外との往来に見通しが立 たない中においても、市内企 業のビジネスサポート、及び 北九州市の魅力発信に努め る。
								実績	139 社												
								達成率	55.6 %												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)			
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標		
VII-2- (3)-② 国際都市にふ さわしいまち づくり	31	④ ⑩ ⑪ ⑰	多文化共生の 推進	国際 政策 課	日本人市民に対して、多文化共生に関する意識啓発や国際交流の機会や場の提供を行うことで、外国人を受け入れる地域づくりを目指すとともに、すべての市民が安心して暮らし、自己の能力を發揮できる「多文化共生先進都市」としてのまちづくりを推進する。	市民の「多文化共生」という言葉の認知度 ※中期目標改訂	51.8% (H29年度)	目標 53.0 %	実績 60.6 %	達成率 114.3 %	62% (R6年度)	継続	42,065	42,803	維持	3,075	順調	外国人市民を地域で受け入れる土壌づくりを行うため、コロナ禍では実施が難しかった外国人市民と地域の交流事業を再開する。 また、地域住民に対し、多文化共生の意識啓発を実施するとともに、やさしい日本語の研修を実施する。 【中期目標の変更内容】 令和2年度実績において中期目標を達成しているため、60%から62%に上方修正。	順調	今後も（公財）北九州国際交流協会と密に連携し、多様化する外国人市民のニーズを踏まえ、外国人市民が安心して住み続けられるよう、さらにきめ細やかな情報提供や伴走型支援を行っていく。 また、外国人市民への働きかけだけでなく、日本人側の意識啓発も実施し、多文化共生の地域づくりを目指す。		
	32	④ ⑩ ⑪ ⑰	多文化共生ワ ンストップイ ンフォメー ションセン ター運営事業	国際 政策 課	外国人市民が安心して生活できるための情報提供や相談に多言語で一元的に対応する「北九州市多文化共生ワンストップインフォメーションセンター」の運営を行う。	外国人市民の生活環境の向上（多文化共生の現状調査で暮らしやすいと回答）	79.7% (H26年度)	目標 単年度目標 設定なし	実績 —	達成率 —	80%以上 (R6年度)	継続	24,715	24,715	維持	2,325	順調	外国人市民が抱える様々な問題に、行政機関や専門家と連携しながら、伴走型の支援を継続し、外国人市民にとって安全安心な生活環境の整備に務める。				
VII-3- (1)-① 県内周 辺市町 村との 広域連 携推進	33	⑧ ⑰	北九州都市圏 域連携事業	政策 調整 課	本市を含めた18市町で形成された、連携中枢都市圏「北九州都市圏域」のブランディング、プロモーション事業を行う。	北九州都市圏域内の宿泊者数 ※中期目標改訂	177.4万人 (H27年)	目標 179.0 万人	実績 122.0 万人	達成率 68.2 %	現観光振興 プラン更新 時に設定	現観光振興 プラン更新 時に設定	継続	4,000	4,000	維持	17,400	順調	連携事業の企画検討を行い、圏域市町の意見を取り入れたブランディング化を図る。 また、令和3年度にリニューアルしたホームページの積極的な活用を図り、圏域の魅力発信を強化する。 【中期目標の変更内容】 次期北九州市観光振興プラン策定に伴うもの。	順調	北九州都市圏域での連携事業について、これまでのプロモーション活動の経験を活かしつつ、随時見直し等を行い、連携をより一層強化していく。	
							3,640万人 (H27年)	目標 3,665 万人	実績 1,734 万人	達成率 47.3 %												3,673万人 (R2年)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善																								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)																
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標															
VII-3-(1)-② 近隣主要都市との都市間連携	34	⑪ ⑰	広域行政推進 事業	政策 調整 課	「連携中枢都市圏ビジョン」掲載の事業のうち、事業を実施した割合（一部実施含む）	目標	69%	90 %			90% (R2年度)	継続	4,413	3,972	減額	13,300	順調	R4年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）	R2年度局施策評価	R4年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）															
						実績	(H28年度)	94 %																											
						達成率		104.4 %																											
						本市と下関市両市の企画部門等で会議を開催し、両市の経済成長に繋がる取組について協議・検討	目標		関門地域の活性化に資する連携会議等での取組の協議・検討	関門地域の活性化に資する連携会議等での取組の協議・検討											関門地域連携推進協議会とそれに伴う両市企画部門等の会議の開催														
							実績	—	関門地域の活性化に資する連携会議等での取組の協議・検討																										
							達成率	—																											
						※指標廃止																													
						本市と下関市両市の行政間における連携事業数	目標				40 事業										40事業 (毎年度)														
							実績	40事業																											
							達成率																												
						※指標追加																													
						本市と福岡市両市の行政間における連携事業数	目標				26 事業										26事業 (毎年度)														
実績	26事業																																		
達成率																																			
※指標追加																																			

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度									
35	⑧ ⑪ ⑰		関門連携推進 事業	政策 調整 課	<p>関門地域魅力向上事業を発展させた形で、新しい生活様式が定着した「Afterコロナ期」を見据え、国内外からの観光客誘致を促進するため、関門エリアの魅力をブラッシュアップし、受入れ態勢のさらなる強化を図る事業を実施する。</p>	<p>行政間における関門連携事業数</p> <p>※指標廃止</p>	40事業	目標	40 事業	40事業 (毎年度)	継続	3,000	2,000	減額	20,750	—	<p>引き続き、関門エリアの魅力をブラッシュアップし、受入れ態勢のさらなる強化に取り組む。</p> <p>【指標廃止・追加の理由】 次期北九州市観光振興プラン策定を踏まえて変更するもの。 (地方創生推進交付金事業のため、そのKPIに合わせるもの)</p>		
							40事業	実績											
36	⑪ ⑰		広域行政推進 事業	政策 調整 課	<p>九州地域などにおける交流・連携都市数(累計)</p> <p>【西九州軸連携】九州新幹線沿線自治体(鹿児島市、熊本市、福岡市)との「四都市連携」と福岡県内の政令市同士として共同施策を進める福岡市との「福北連携」を核とした広域連携に加えて、鹿児島県南九州市との都市間交流の推進により、九州の一体的な発展のため、西九州軸の広域連携の強化を図る。</p> <p>【東九州軸連携】東九州軸では東九州自動車道全線開通を見据え、京築地域や大分・宮崎などの都市との連携構築に取り組む。</p>	九州地域などにおける交流・連携都市数(累計)	26都市 (H28年度)	目標	27 都市	27都市 (毎年度)	継続	4,413	3,972	減額	3,075	順調	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大を考慮して各連絡会議を书面開催するなど、適時、適切に対応している。次年度以降も、状況に応じて书面開催やWeb会議など柔軟な対応を取りつつ連携の質を高めていく。</p>	順調	<p>今後も交流・連携の枠組みを維持・継続し、九州の各地域との連携を強化していく。</p>
							27都市	実績											
36	⑪ ⑰		広域行政推進 事業	政策 調整 課	<p>連携事業の実施(西九州軸での活動)</p>	1回 (H28年度)	1回	目標	1 回	1回 (毎年度)	継続	4,413	3,972	減額	3,075	順調	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大を考慮して各連絡会議を书面開催するなど、適時、適切に対応している。次年度以降も、状況に応じて书面開催やWeb会議など柔軟な対応を取りつつ連携の質を高めていく。</p>	順調	<p>今後も交流・連携の枠組みを維持・継続し、九州の各地域との連携を強化していく。</p>
							1回	実績											
36	⑪ ⑰		広域行政推進 事業	政策 調整 課	<p>連携事業の実施(東九州軸での活動)</p>	1回 (H28年度)	1回	目標	1 回	1回 (毎年度)	継続	4,413	3,972	減額	3,075	順調	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大を考慮して各連絡会議を书面開催するなど、適時、適切に対応している。次年度以降も、状況に応じて书面開催やWeb会議など柔軟な対応を取りつつ連携の質を高めていく。</p>	順調	<p>今後も交流・連携の枠組みを維持・継続し、九州の各地域との連携を強化していく。</p>
							2回	実績											
36	⑪ ⑰		広域行政推進 事業	政策 調整 課	<p>四都市間にて市民割引料金を適用する市施設数(動物園、美術館、博物館など)</p>	52施設	52施設	目標	52 施設	52施設 (毎年度)	継続	4,413	3,972	減額	3,075	順調	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大を考慮して各連絡会議を书面開催するなど、適時、適切に対応している。次年度以降も、状況に応じて书面開催やWeb会議など柔軟な対応を取りつつ連携の質を高めていく。</p>	順調	<p>今後も交流・連携の枠組みを維持・継続し、九州の各地域との連携を強化していく。</p>
							52施設	実績											